

鎌倉支援 学校だより

共生社会の泉湧く

鎌倉支援学校

Since1979



第3号

令和6年12月10日

第1号
新年度挨拶

第2号
コミスク報告

第3号
鎌フェス

第4号
年度のまとめ

令和6年度 鎌フェス



よく晴れた 11月22日(金)鎌フェスがスタートしました。

開会式は、生徒会役員の司会で行われました。各委員の紹介やテーマ曲のダンスで、みんなの気持ちが一になり、学校全体が二日間の鎌フェスを楽しむぞ！という熱気に包まれました。

体育館ステージ発表では、各クラスの白ごろの学習を盛り込んだ発表が見られました。

分教室のさつまいもや手工芸品の販売会は、行列ができるほどの大盛況でした。アトラクションを行った教室では、保護者や地域の方の笑い声が聴かれました。PTA コーナーでは、スタンプラリーとひもくじがあり、景品を手にするに「やったー。」「かわいい！」とそれぞれに楽しんでいました。

また、卒業生の集いでは、幅広い年齢の卒業生が集まり、近況を報告したり、仕事の相談をしたりと充実した時間になりました。



ごあいさつ

「1000人を超える人が集う・つながる鎌倉支援学校」

鎌倉支援学校 校長 立花裕治

白頃より、鎌倉支援学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年も残すところ1カ月となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、たくさんの応援をいただき、本当にありがとうございました。あらためて御礼申し上げます。

さて、本校では、学校行事の一つであります「鎌フェス」を11月22、23日に開催し、無事に終了しました。

数年前を振り返りますと、新型コロナウイルス感染拡大防止のための生活規制があり、学校でも様々な教育活動が制限されました。中でも「人同士の関わり合いの制限」は、極めて難しい課題でありました。あのとき、「学校は、どの子にとっても、友達や先生と一緒に過ごし、一緒に学び、語り支え合う人間関係を築く大切な場所であり、大切な機会である。」と再認識したことを思い出します。

今年の鎌フェスは、686人のお客様と、201人の児童生徒、約200人の職員、スクールバスや関係事業所の皆さん、総勢1000人を超える方みなで作り上げた一大イベントとなりました。

ご参加いただいた全ての方にとって、子どもを中心に、仲間と一緒に過ごし、温かい人間関係を築く喜びを実感してもらえた機会であれば何よりと思っています。

ご参加いただいた方、応援して下さった全ての方に、あらためて感謝申し上げます。

用語解説

し えんきょういく かながわの支援教育

「共に学び共に育つ教育」という理念の実現に向けて、障害の有無にかかわらず、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに適切に対応していくことを根幹にすえた教育のこと。これは、平成14年3月の神奈川県教育委員会に対する、これからの支援教育の在り方検討協議会「これからの支援教育の在り方（報告）」に基づく神奈川県の考え方です。

学校種や学級・教室の種類などを問わず、各学校に在籍する全ての子どもたちを対象としています。

鎌倉支援学校ののぼり旗

PTAでのぼり旗を作成しました。鎌フェスや玉縄祭りでは受付の自印となりました。災害時の本部旗としても活用します。

